

主任研究者名： 樋口 理 准教授

所属： 腫瘍抑制分野

研究の目的：

seronegative MG の発症と関連性が高い自己抗体の探索および同定を目指す。

研究方法：

MG 患者由来の血清内に存在が想定される自己抗体の抗原蛋白質を特殊な標識を施し、bait とする。Bait と自己抗体が形成する免疫複合体を免疫沈降法により回収し、Bait に付加された標識分子に依存する化学反応を指標に自己抗体の有無を判定する。

使用させていただく試料：

共同研究者である長崎大学医学部・木村医師に送られた血清サンプルは、各担当医（全国の個人病院あるいは大学病院等）が各患者をMGと診断した上で、自己抗体の有無の確認を依頼したものである。本研究に使用するサンプル数はおよそ500である。